

第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
2015年6月13日(土)～14日(日)
@つくば国際会議場(茨城県つくば市)

ワークショップ 16	
タイトル	LGBT(性的マイノリティ)患者のための医療を考える
日時	6月13日(土) 13:50-15:50
企画責任者	青木 昭子 (公募企画)
定員	24名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>LGBTとは同性愛者(Lesbian, Gay), 両性愛者 Bisexual, 性同一性障害者 Transgender から, それぞれの頭文字を取った性的マイノリティをさす総称です。人口の4~6%, つまり30人に1人がLGBTと言われ, 決して少数ではないにも関わらず, 医療者のLGBTに対する知識は十分なものではなく, LGBT患者さんは医療現場で多くの困難を経験していると言われていいます。本ワークショップでは医療の現場で何が問題となっているか, それを解決するために何が可能かを討議したいと思います。</p> <p>【概要】</p> <p>ワークショップの最初に海外のLGBT医療の現状や日本の医学教育, LGBTの人たちの医療についての困難について情報提供します。その後, 少人数グループで, 参加者のこれまでの経験(LGBT患者さんを受け入れるにあたって困ったこと, 工夫したこと)と今後の解決策を話し合います。性的指向の多様性だけでなく, 年齢, 性別, 職業, 国籍, 宗教など多様な患者さんを平等に受け入れるために, 何ができるかを一緒に考えませんか。</p>	